



HDS HiCommand Device Managerデータソース

OnCommand Insight

NetApp
October 24, 2024

目次

HDS HiCommand Device Managerデータソース	1
用語集	1
インベントリの要件	1
パフォーマンス要件	2
設定	2
高度な設定	3
Hitachi Ops Center データコレクタ	4
HDSストレージ	5
HITACHI Storage Poolの略	6
HDSストレージノード	7

HDS HiCommand Device Managerデータソース

HDS HiCommandおよびHiCommand Liteデータソースでは、HiCommand Device Managerサーバがサポートされます。OnCommand Insightは、標準のHiCommand APIを使用してHiCommandデバイスマネージャサーバと通信します。

用語集

OnCommand Insightでは、HDS HiCommandおよびHiCommand Liteデータソースから次のインベントリ情報を取ります。Insightで取得したアセットタイプごとに、このアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータソースを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	Insightの用語
PDEV	ディスク
ジャーナルプール	ディスクグループ
ストレージアレイ	ストレージ
Port Controller の略	ストレージノード
アレイグループ 'DP プール	ストレージプール
論理ユニット、LDEV	ボリューム



これらは一般的な用語のマッピングであり、このデータソースのすべてのケースを表しているとは限りません。

インベントリの要件

- HiCommand Device Manager サーバの IP アドレス
- HiCommand Device Manager ソフトウェアおよびピアの権限に対する読み取り専用のユーザ名とパスワード
- ポート要件：2001（http）または2443（https）
- アクセスの検証：
 - ピアのユーザ名とパスワードを使用してHiCommand Device Managerソフトウェアにログインします。
 - HiCommand Device Manager APIへのアクセスを確認します。telnet <HiCommand_Device_Manager_server_ip> 2001

パフォーマンス要件

- HDS USP、USP V、およびVSPのパフォーマンス
 - Performance Monitorのライセンスが必要です。
 - 監視スイッチが有効になっている必要があります。
 - エクスポートツール(Export.exe)をOnCommand Insightサーバにコピーする必要があります。
 - エクスポートツールのバージョンとターゲットアレイのマイクロコードのバージョンが一致している必要があります。
- HDS AMSのパフォーマンス
 - Performance Monitorのライセンスが必要です。
 - Storage Navigator Modular 2(SNM2) CLIユーティリティがOnCommand Insightサーバにインストールされている必要があります。
 - 次のコマンドを使用して、OnCommand Insightでパフォーマンスを取得する必要があるAMS、WMS、SMSのすべてのストレージアレイを登録する必要があります。
 - 登録したすべてのアレイがこのコマンドの出力に表示されていることを確認する必要があります。`auunitref.exe`

設定

* フィールド *	* 概要 *
HiCommand サーバ	HiCommand Device Manager サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
ユーザ名	HiCommand Device Manager サーバのユーザ名
パスワード	HiCommand Device Manager サーバのパスワード
デバイス - VSP G1000 (R800)、VSP (R700)、HUS VM (HM700)、およびUSPストレージ	VSP G1000 (R800)、VSP (R700)、HUS VM (HM700)、およびUSPストレージのデバイスリスト。各ストレージには以下が必要です。 <ul style="list-style-type: none">◦ Array's IP : ストレージのIPアドレス◦ User Name : ストレージのユーザ名◦ Password : ストレージのパスワード◦ Folder Containing Export Utility JAR Files (エクスポートユーティリティを含むフォルダ) : エクスポートユーティリティを含むフォルダ.jarファイル

SNM2Devices - WMS/SMS/AMS ストレージ	<p>WMS / SMS / AMS ストレージのデバイスリスト。各ストレージには以下が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Array's IP : ストレージのIPアドレス • Storage Navigator CLI Path : SNM2 CLIパス • Account Authentication Valid : 有効なアカウント認証を選択する場合に選択します • User Name : ストレージのユーザ名 • Password : ストレージのパスワード
「Tuning Manager」を「Performance」に選択します	パフォーマンスに合わせてTuning Managerを選択し、他のパフォーマンスオプションを上書きします
Tuning Manager Host (ホストのチューニング)	Tuning Manager の IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
Tuning Manager ポート	Tuning Manager に使用するポート
Tuning Manager のユーザ名	Tuning Manager のユーザ名
Tuning Manager パスワード	Tuning Manager のパスワード



HDS USP、USP V、およびVSPでは、どのディスクも複数のアレイグループに属することができます。

高度な設定

フィールド	説明
HiCommand Server ポート	HiCommand Device Manager に使用するポート
HTTPs が有効です	HTTPS を有効にする場合に選択します
インベントリポーリング間隔 (分)	インベントリのポーリング間隔 (デフォルトは 40 分)
「除外」または「含める」を選択してリストを指定します	以下のリストにあるアレイをデータの収集時に対象に含めるか除外するかを指定します
デバイスを除外または含める	対象に含めるか除外するデバイスの ID またはアレイ名をカンマで区切ったリスト
ホストマネージャを照会します	ホストマネージャを照会する場合に選択します

HTTPタイムアウト（秒）	HTTP接続タイムアウト（デフォルトは60秒）
パフォーマンスポーリング間隔（秒）	パフォーマンスのポーリング間隔（デフォルトは300秒）
エクスポートのタイムアウト（秒）	エクスポートユーティリティのタイムアウト（デフォルトは300秒）

Hitachi Ops Center データコレクタ

このデータコレクタは、 Hitachi Ops Center の統合されたアプリケーションスイートを使用して、複数のストレージデバイスのインベントリとパフォーマンスのデータにアクセスします。インベントリと容量を検出するには、 Operations Center のインストールに「 Common Services 」と「 Administrator 」の両方のコンポーネントを含める必要があります。パフォーマンス収集では、さらに「 Analyzer 」を導入する必要があります。

用語集

OnCommand Insightはこのデータコレクタから次のインベントリ情報を取得します。取得したアセットのタイプごとに、そのアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータコレクタを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	OnCommand Insight 期間
ストレージシステム	ストレージ
ボリューム	ボリューム
パリティグループ	ストレージプール（ RAID ）、ディスクグループ
ディスク	ディスク
ストレージプール	ストレージプール（シン、スナップ）
外部パリティグループ	ストレージプール（バックエンド）、ディスクグループ
ポート	ストレージノード→コントローラノード→ポートの順にクリックします
ホストグループ	ボリュームのマッピングとマスキング
ボリュームペア	ストレージ同期

注：これらは一般的な用語の対応のみを示したものであり、このデータコレクタのすべてのケースを表しているわけではありません。

インベントリの要件

インベントリデータを収集するには、次の情報が必要です。

- 「 Common Services 」コンポーネントをホストするOps CenterサーバのIPアドレスまたはホスト名

- ルート / sysadmin ユーザアカウントとパスワード。Ops Center コンポーネントをホストするすべてのサーバに存在します。HDSでは、Ops Center 10.8以降まで、LDAP/SSO ユーザによる REST API サポートは実装されていませんでした

パフォーマンス要件

パフォーマンスデータを収集するには、次の要件を満たしている必要があります。

- HDS Ops Center の「Analyzer」モジュールがインストールされている必要があります
- ストレージアレイが Ops Center の「Analyzer」モジュールにデータを供給している必要があります

設定

フィールド	説明
Hitachi Ops Center の IP アドレス	「Common Services」コンポーネントをホストする Ops Center サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
ユーザ名	Ops Center サーバのユーザ名。
パスワード	Ops Center サーバのパスワード。

高度な設定

フィールド	説明
接続タイプ	デフォルトは HTTPS（ポート 443）です
TCP ポートを上書きします	デフォルト以外の場合に使用するポートを指定します
インベントリポーリング間隔（分）	インベントリのポーリング間隔。デフォルトは 40. です。
「除外」または「含める」を選択してリストを指定します	下のリストに表示されたアレイをデータの収集時に対象に含めるか除外するかを指定します。
デバイスリストをフィルタリングします	対象に含めるか除外するデバイスのシリアル番号をカンマで区切ったリスト
パフォーマンスポーリング間隔（秒）	パフォーマンスのポーリング間隔デフォルトは 300. です。

HDSストレージ

HDSストレージアセットのランディングページに記載されているオブジェクトや参照に適用される用語。

HDSストレージの用語

HDSストレージアセットランディングページにあるオブジェクトや参考資料に関連する用語を次に示します。これらの用語の多くは、他のデータコレクタにも適用されます。

- Name — GetStorageArray XML API呼び出しを介してHDS HiCommand Device Managerの「name」属性から直接取得されます
- Model - GetStorageArray XML API呼び出しを介してHDS HiCommand Device Managerの「arrayType」属性から直接取得されます
- ベンダー-- HDS
- Family - GetStorageArray XML API呼び出しを介してHDS HiCommand Device Managerの「arrayFamily」属性から直接取得されます
- IP --アレイの管理IPアドレスであり'アレイ上のすべてのIPアドレスを網羅したリストではありません
- Raw Capacity (物理容量) --ディスクロールに関係なく、このシステムのすべてのディスクの合計容量を表す2進数の値。

HITACHI Storage Poolの略

HDSストレージプールのアセットランディングページに記載されているオブジェクトや参照に適用される用語。

HDSストレージプールの用語

HDSストレージプールのアセットランディングページにあるオブジェクトや参照に関連する用語を次に示します。これらの用語の多くは、他のデータコレクタにも適用されます。

- タイプ：値は次のいずれかになります。
 - リザーブ(Reserved)--このプールがデータボリューム以外の目的(ジャーナリング'スナップショットなど)専用の場合
 - Thin Provisioning : HDPプールの場合
 - RAIDグループ：いくつかの理由により'これらが表示されない可能性があります

OCIでは、容量がどのようなコストであっても二重にカウントされることは避けたいと強く考えているHDSでは、通常、ディスクから RAID グループを作成し、それらの RAID グループにプールボリュームを作成し、それらのプールボリュームからプール（多くの場合 HDP を作成しますが、特別な目的にすることもあります）を構築する必要があります。基盤となるRAIDグループとプールの両方について報告された場合、物理容量の合計がディスクの合計を大幅に超えてしまいます。

OCIのHDS HiCommandデータコレクタは、プールボリュームの容量に応じてRAIDグループのサイズを任意に縮小します。そのため、OCIでRAIDグループがまったく報告されない場合があります。また、作成されたRAIDグループにはOCI Web UIには表示されず、OCI Data Warehouse (DWH) にも表示されるようにフラグが設定されます。これらの決定の目的は、ほとんどのユーザーが気にしないことでUIが乱雑にならないようにすることです。HDSアレイに50MBの空き容量があるRAIDグループがある場合、その空き容量を有意義な結果に使用することはおそらくできません。

- HDS プールは 1 つの特定のノードに関連付けられないため、ノードなし
- Redundancy - プールの RAID レベル。複数の RAID タイプで構成される HDP プールには、複数の値が含まれる可能性があります
- Capacity % - プールでデータ使用に使用されている割合。プールの使用済み GB と合計論理 GB サイズです

- オーバーコミット容量-「このプールの論理容量は、プールの論理容量をこの割合で超過した論理ボリュームの合計により、この割合でオーバーサブスクライブされています」を示す派生値。
- snapshot - このプールでの Snapshot の使用用にリザーブされている容量が表示されます

HDSストレージノード

HDSストレージノードのアセットランディングページに記載されているオブジェクトや参照に適用される用語。

HDSストレージノードの用語

HDSストレージノードのアセットランディングページにあるオブジェクトや参照に関連する用語を次に示します。これらの用語の多くは、他のデータコレクタにも適用されます。

- 名前—モノリシックアレイ上のフロントエンドダイレクタ(FED)またはチャネルアダプタの名前'またはモジュラーアレイ上のコントローラの名前1つの HDS アレイに 2 つ以上のストレージノードがある
- ボリューム—ボリュームテーブルには、このストレージノードが所有するポートにマッピングされているボリュームが表示されます

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。